Press Release 2015-13

2015 年 7 月 16 日

【本件に関するお問い合わせ先】
公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
〒140-0001
東京都品川区北品川 1-16-1 舟正ビル 2F
TEL.03-3450-9360 FAX.03-3450-9361
E-mail: jafahq@americanfootball.jp
Web : http://americanfootball.jp

報道関係各位

『第５回 IFAF アメリカンフットボール 世界選手権アメリカ大会』
ー日本代表が 5TD 奪いメキシコに快勝　決勝戦は 7 月 18 日ー

現地時間 7 月 15 日（水）※日本時間 16 日（木）、アメリカ合衆国オハイオ州キャントンのトム・ベンソン・ホール・オブ・フェイム・スタジアムで開催されている『第５回 IFAF アメリカンフットボール 世界選手権アメリカ大会』が行われ、日本代表がメキシコ代表と対戦。攻撃陣が 5 タッチダウンを奪う活躍で、35 対 7 の勝利。この結果、7 月 18 日（土）19 時（予定）から行われる決勝戦に進むことが決まりました。決勝の対戦相手は、フランスを大差で破ったアメリカとなります。

なお、この試合のゲーム MVP には、パス 24 回中 17 回成功で 223 ヤード、3TD を記録した QB 高田　鉄男（パナソニックインパルス）が受賞しました。

日本代表 森　清之監督（LIXIL ディアーズ）
選手、コーチ、マネージャーのスタッフ全員が素晴らしい仕事をしてくれました。最初のキックオフリターンのファンブルでオフェンスラインがリカバーできたのが大きかったです。彼らをとても誇りに思います。オフェンスのゲームプランは高い確率で遂行できました。
（決勝戦について）プロフットボール発祥の地で日本のフットボールを見せる機会はあまりないので、日本のフットボールを見せたいです。1 戦目のアメリカ戦で選手たちは本当に良くやってくれたので、その頑張りを生かせるようにコーチがバックアップして、選手たちに思う存分戦ってほしいと思います。

日本代表 QB 高田　鉄男（パナソニックインパルス）
（決勝進出について）必ず勝ちにこだわって、全力を尽くしたいと思います。

日本代表 DL 脇坂　康生（パナソニックインパルス）
（自身 4 回目の決勝進出について）日本のフットボールのレベルを世界に知らしめたいとずっと思っていました。31 年間フットボールをやって来てアメリカに近づき追い越したいと思ってプレイをしていました。今回が最後のチャンスなので、その思いを何とか晴らしたいです。全力を尽くす覚悟でいます。

日本代表 WR 栗原　嵩（IBM ビッグブルー）
（メキシコ戦を振り返って）アメリカに比べたらタックルの迫力もパワーも技術も劣っていたので、オフェンスがしっかり点を取っていけばこういう展開になるとスタートから思いました。
（70 ヤードタッチダウンキャッチについて）久々にあれだけ走りました。次戦に向けて良いイメージができたので、今日の試合は個人的には良かったと思います。

日本代表 DB 三宅　剛司（オービックシーガルズ）
アメリカ戦でボールを取るチャンスがあったけど取れなかったので、メキシコ戦ではインターセプ

トをすることを目標に掲げていました。その目標が達成できたのは良かったです。（2INT については）率直にうれしいです。

日本代表 WR 前田　直輝（LIXIL ディアーズ）
（メキシコは）体が大きいので、日本人よりヒットが強いし思い切りも良かったのでそこを警戒していました。それでも僕らのほうがプレイの精度や精密さの部分で勝っていたところもあったので、そこでうまく勝負できた展開になって良かったです。
（TD キャッチの感想）向こうが追い上げてきそうな中でタッチダウンを取れたのは良かったです。

ゲームサマリー

日本がレシーブを選択して始まったこの日の試合。いきなりリターナーの WR 木下　典明（オービックシーガルズ）がキックオフリターンでファンブルするも味方がリカバーして事なきを得る。これで得たチャンスに、QB 高田　鉄男（パナソニックインパルス）が WR 栗原　嵩（IBM ビッグブルー）へパスが成功。WR 栗原は相手のタックルをかわすと、そのままエンドゾーンまで運ぶ 70 ヤードのタッチダウン。日本が幸先良くリードを奪う。

さらに日本は第 1Q 残り 1 分 29 秒、ファンブルリカバーで得た攻撃権を QB 高田から再び WR 栗原への 10 ヤードタッチダウンパスへつなげ、14 対 0 とする。第 2Q に入ってもメキシコオフェンスをパントに抑えて守備陣が奮闘する日本。前半残り 4 分 48 秒、自陣 20 ヤードから始まったドライブで、QB 高田から WR 木下典明（オービックシーガルズ）へ 38 ヤード、15 ヤードのパスが決まるなど徐々に敵陣へ侵入。すると、最後は QB 高田から WR 前田直輝（LIXIL ディアーズ）へ 17 ヤードのタッチダウンパスがヒットし、前半を 21 対 0 で折り返す。

第 3Q にタッチダウンを許して、21 対 7 と追い上げられた日本。攻撃陣も得点を上げられなかったが、同残り 59 秒に DB 三宅剛司（オービックシーガルズ）が相手のパスをインターセプト。試合の流れを引き戻す。日本は自陣 45 ヤードから始まったこのチャンスに、ラン攻撃を軸にじわじわと敵陣へ前進。最後は、RB 高木稜（IBM ビッグブルー）がゴール前 1 ヤードでエンドゾーンへ飛び込み、28 対 7 とリードを広げる。

その後も日本は、LB 天谷謙介（LIXIL ディアーズ）と DB 三宅のインターセプトが決まり、メキシコに得点を許さず。逆に第 4Q 残り 1 分 57 秒、RB 李卓（慶應義塾大学）の 2 タッチダウンランでとどめを刺した。

試合の記録はこちらをご覧ください
↓
http://usafootball.com/sites/default/files/japan-mexico_box_score.pdf

■第５回世界選手権帰国報告記者会見のご案内
　日本代表チーム帰国に合わせ、下記の通り帰国報告記者会見を行います。ぜひご出席いただきたくご案内申し上げます。

　＊別紙「取材申請書」にご記入のうえ、ご返信いただけましたら幸甚に存じます。

日　時　：７月２０日（月・祝）　17:00～18:00
場　所　：成田空港第１旅客ターミナルビル　４階　応接室 S-3（添付地図参照）
出席者　：森　清之（日本代表ヘッドコーチ）、
内　容　：第５回世界選手権を振り返ります

■第５回 アメリカンフットボール大学世界選手権大会　大会概要

名称　　第５回 IFAF ア メリカンフットボール 世界選手権アメリカ大会
The IFAF World Championship 2015

主催　　IFAF [International Federation of American Football]（国際アメリカンフットボール連盟）

主管　　USA Football

期間　　2015 年 7 月 8 日（水）～7 月 18 日（土）

開催地　　アメリ カ合衆国 オハイオ州 キャントン
[試合会場]　Tom Benson Hall of Fame Stadium（収容 22.375 名）
　　Earl Schreiber Cir NW,Canton,OH 44708

出場国　　7 カ国

対戦方式　上位ランク 4 チーム【グループ A】、 下位ランク 4 チーム【グループ B】 に分かれ、それぞれ 2 試 合のトーナメント戦を行う。
【グループ A】 の全敗と【グループ B】の全勝を入れ替え、上位 4 チーム、下位 4 チームを 再構成。それぞれ 4 チー ムでトーナメント戦を行い、最終順位を決定する
※カナダ代表の欠場により、カナダ代表と対戦を予定されたチームが それぞれ不戦勝となります

■試合スケジュール
◇7 月 9 日（木）
[Day1]
Game1 [12:00]オーストラリア 47-6 韓国
Game2 [15:30]フランス 31-6 ブラジル
Game3 [19:00]アメリカ 30-6 メキシコ
日　本 （不戦勝）

◇7 月 12 日（日）
[Day2]
Game4 [12:00]韓国 0-28 ブラジル
Game5 [15:30]オーストラリア 3-53 フランス
Game6 [19:00]アメリカ 43- 18 日　本
メキシコ（不戦勝）

※【グループ A】カナダは２敗で【グループ B】1 位へ降格、【グループ B】 ２勝フランスは【グループ A】4 位へ昇格し、それぞれのグループでトーナメント戦を行う。

◇7 月 15 日（水）
[Day3]
Game7 [12:00]オーストラリア 16-8 ブラジル
Game8 [15:30]メキシコ 7-35 日本
Game9 [19:00]フランス 0-82 アメリカ
韓国（不戦勝）

◇7 月 18 日（土）
[Day4]
7 位決定戦 ブラジル（不戦勝）
5 位決定戦 [12:00]韓国×オーストラリア
3 位決定戦 [15:30]メキシコ×Game9 敗 者
決勝戦 [19:00]日本×Game9 勝 者

■関連ウエブサイト

◇大会公式サイト http://ifafworldchampionship.org/

◇日本代表公式サイト http://japan.americanfootball.jp/

◇USA Football http://usafootball.com/

◇IFAF http://ifaf.org/

第５回　IFAF　アメリカンフットボール世界選手権　アメリカ大会
日本代表選手(45 名)

背番号順　　年齢は大会開幕日(7月8日)現在

	POS	#	名前	ふりがな	所属	出身校	身長	体重	年齢
	WR	1	宜本　潤平	よしもと じゅんぺい	富士通フロンティアーズ	立命館大学	169	70	24
	DB	2	東條　健人	とうじょう けんと	オービックシーガルズ	立命館大学	174	74	23
	DB	3	石井　悠貴	いしい ゆうき	富士通フロンティアーズ	立命館大学	174	75	23
	DL	4	平澤　徹	ひらさわ とおる	LIXILディアーズ	関西学院大学	179	92	26
	LB	5	塚田　昌克	つかだ まさよし	オービックシーガルズ	立命館大学	175	88	32
	RB	6	神山　幸祐	かみやま こうすけ	富士通フロンティアーズ	日本大学	171	80	28
	DB	7	藤田　篤	ふじた あつし	富士通フロンティアーズ	日本体育大学	179	80	29
	QB	8	高田　鉄男	たかた てつお	パナソニックインパルス	立命館大学	180	90	33
	WR	9	遠藤　昇馬	えんどう しょうま	パナソニックインパルス	日本大学	180	88	24
	QB	10	加藤　翔平	かとう しょうへい	LIXILディアーズ	関西学院大学	183	85	27
	WR	11	前田　直輝	まえだ なおき	LIXILディアーズ	立命館大学	173	91	29
	DB	12	今西　亮平	いまにし りょうへい	パナソニックインパルス	立命館大学	171	84	28
	DL	13	平井　基之	ひらい もとゆき	富士通フロンティアーズ	立命館大学	182	99	33
	DB	14	藤本　将司	ふじもと まさし	オービックシーガルズ	立命館大学	175	77	30
	WR	15	宮本　康弘	みやもと やすひろ	LIXILディアーズ	法政大学	183	85	26
	DB	16	三宅　剛司	みやけ たけし	オービックシーガルズ	立命館大学	182	78	31
	LB	17	天谷　謙介	あまや けんすけ	LIXILディアーズ	日本大学	177	92	25
◎	WR	18	木下　典明	きのした のりあき	オービックシーガルズ	立命館大学	177	80	32
	WR	19	永川　勝也	ながかわ かつや	LIXILディアーズ	関西大学	173	75	28
	RB	20	古谷　拓也	ふるたに たくや	オービックシーガルズ	関西大学	173	78	38
	RB	21	高木　稜	たかぎ りょう	IBMビッグブルー	京都大学	166	74	25
	DL	24	飾磨　宗和	しかま むねかず	パナソニックインパルス	立命館大学	178	105	33
	DB	25	砂川　敬三郎	いさがわ けいざぶろう	オービックシーガルズ	関西大学	170	77	24
	K/P	26	佐伯　眞太郎	さえき しんたろう	パナソニックインパルス	立命館大学	180	80	23
	DB	27	辻　篤志	つじ あつし	パナソニックインパルス	大阪産業大学	174	84	28
	RB	29	李　卓	り たく	慶應義塾大学	南山高校	182	86	20
	LB	35	竹内　修平	たけうち しゅうへい	富士通フロンティアーズ	日本福祉大学	183	93	26
○	DL	43	脇坂　康生	わきさか やすお	パナソニックインパルス	日本大学	182	115	46
○	LB	45	鈴木　將一郎	すずき しょういちろう	富士通フロンティアーズ	専修大学	180	90	35
	DL	54	冨田　祥太	とみた しょうた	オービックシーガルズ	日本大学	180	123	26
	OL	57	斎田　哲也	さいた てつや	富士通フロンティアーズ	法政大学	188	120	26
	OL	59	山本　祐介	やまもと ゆうすけ	オービックシーガルズ	北海学園大学	186	126	29
	OL	66	望月　俊	もちづき しゅん	富士通フロンティアーズ	早稲田大学	180	120	26
○	OL	72	小林　祐太郎	こばやし ゆうたろう	富士通フロンティアーズ	日本大学	190	115	27
	OL	75	黒川　晴央	くろかわ はるひさ	アサヒ飲料チャレンジャーズ	名城大学	190	127	26
	OL	77	野田　健仁	のだ たけひと	アサヒ飲料チャレンジャーズ	大阪府立大学	193	142	29
	OL	78	荒井　航平	あらい こうへい	LIXILディアーズ	日本大学	188	140	25
	OL	79	勝山　晃	かつやま あきら	富士通フロンティアーズ	法政大学	186	123	25
	WR	81	栗原　嵩	くりはら たかし	IBMビッグブルー	法政大学	180	85	27
	WR	83	林　雄太	はやし ゆうた	アサヒビールシルバースター	日本大学	186	88	24
	TE	88	春田　崇博	はるた たかひろ	富士通フロンティアーズ	大阪産業大学	182	95	30
	DL	90	清家　拓也	せいけ たくや	オービックシーガルズ	関西大学	178	140	24
	DL	92	紀平　充則	きひら みつのり	無所属	立命館大学	183	125	32
	LB	96	澤田　遥	さわだ よう	オービックシーガルズ	関西大学	182	104	23
	DL	99	高橋　伶太	たかはし りょうた	富士通フロンティアーズ	立命館大学	185	105	24

◎主将　○副将

以上